

(別表第1の4)

事業所名 グループホームラポール

作成日: 令和6年3月12日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |   |                                |  |            |            |
|----------|------|---|--------------------------------|--|------------|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題  | 目標                             | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容   | 目標達成に要する期間 | 目標達成状況(任意) |
| 1        | 29   | 外部評価のアンケートで家族・地域の評価が低かった。理由として玄関の施錠について入居者の安全の面を考慮し玄関開放には至っていない現状があることを玄関掲示や推進会議等で持続的に周知していたが、理解に至っていない。今後、周知方法を工夫して理解に繋がるように継続的に働きかけを行う。 | 家族会を発足し理解を求める。                 | ・掲示を大きくし目につくよう工夫する。<br>・家族会を開催しその席にて施錠を行うことの説明する場を設ける。<br>・お便りにて毎回周知する。  | 6 か月       |            |
| 2        | 40   | 運営推進会議の内容や取り組みについて家族に理解を得るに至っていない。会議内容を家族に向けて発信する場と手段を検討し実践に繋げる。  | 家族の出席率を高める。                    | ・推進会議出席を家族に依頼する。<br>・年間通して全ての家族が出席できる環境を整える。<br>・運営推進会議の議事録を全家族に送付し周知する。   | 6 か月       |            |
| 3        | 50   | 外部評価における家族アンケート結果から、災害の備えに対して、十分な理解が得られていない現状がある。災害に対しての備えや訓練の実施状況を『見える化』していく。  | 家族がホームの災害の備えが確実にできていることを認識できる。 | ・事業所便りを活用し家族に伝達する。<br>・訓練風景の映像及び画像を遺していく。<br>・訓練風景の映像及び画像を家族会にて紹介する。<br>・玄関に防災訓練の様子を掲示する。<br>・防災訓練を毎月行い職員及び利用者の意識を高めていく。 | か月         |            |
| 4        |      |   |                                |  | か月         |            |
| 5        |      |   |                                |  | か月         |            |

注1) 項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告して下さい。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告して下さい。